

概要: 平成30年7月豪雨等により山地災害が多発していることを踏まえ、山腹崩壊や溪流の荒廃等が発生しており、災害につながるおそれがある山地災害危険地区等において、その荒廃状況、既存施設の健全度の緊急点検を行い、緊急的に対策が必要な箇所において、治山施設の設置等により、荒廃山地の復旧・予防対策を実施。

対策名: 30 国土強靱化緊急森林対策(治山施設)

府省庁名: 農林水産省

- **実施主体:** 林野庁 近畿中国森林管理局
- **実施場所:** 広島県東広島市高屋町
- **事業概要:** 治山ダムの設置等により、荒廃した溪流を安定させ勾配を緩やかにすることで、土石流や流木の流出を抑制し、人家等を山地災害から保全した。
- **事業費:** 全体事業費約98億円
(うち3か年緊急対策による事業費約18億円)
- **効果:** 令和3年8月の大雨において、当該地区では最大72時間降水量413.5mmを観測したが、治山ダムが下流への土砂流出を抑制し、下流の人家、山陽自動車道への被害を未然に防止した。
また、土砂を貯めることで溪流の浸食防止効果も発揮した。

平成30年7月豪雨時の被災状況

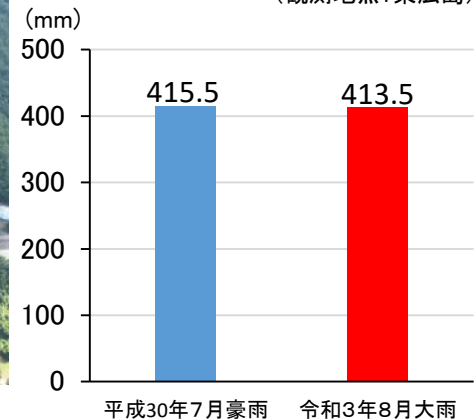
荒廃状況(全景)



東広島市における山地災害発生状況(被害額: 約221億円)

【雨量データ】

平成30年7月豪雨と令和3年8月大雨における最大72時間降水量の比較
(観測地点: 東広島)



令和3年8月の大雨時の状況(治山ダム設置状況)



東広島市における山地災害発生状況(被害額: 約1億円)

